平成23年(2011年)3月11日14時46分に発生した東日本大震災は、最大震度7の強い揺れに加え、その後に発生した津波により、広域にわたる甚大な被害が生じました。

宮城県石巻市は、約4千人が亡くなられた国内最大の被災市町村で、その中でも南浜地区(南浜町、門脇町及び雲雀野町)は津波の襲来とその後に発生した火災の延焼により500人以上の方々が亡くなられました。

その南浜地区約38.8haを、亡くなられた方々を追悼する場所として、また震災の記憶と教訓を後世に伝承し、復興への強い意志を国内外に向けて示すことを目的に、復興祈念公園として整備しました。

南浜地区(門脇町)に広がる火災の様子
(2011.3.11 撮影 出展:石巻百景)

津波襲来後の南浜地区
(2011.4.24 撮影 出所:東日本大震災アーカイブ宮城(石巻市)
※作成者:石巻市社会福祉協議会

基本デザインコンセプト

～土地の履歴、街の記憶、追悼と伝承の祈念公園の場所性を重ねる～

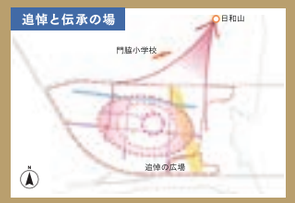
南浜地区における集落の成り立ちの歴史や風土を示すかつての自然環境である「浜」と、震災前に蓄積された半世紀の想いや記憶を示す「街」、さらには東日本大震災による犠牲者を追悼し、被災の記憶を次世代へと伝承し、復興の意志を伝え続ける「祈念公園」。

浜(土地の履歴)が意味するもの

かつては聖人堀より南側は湿地や松原が広がる場所でした。のちに開墾されると桑畑、果樹園、水田となり、その後宅地開発されました。

街の記憶が意味するもの

街の暮らしの記憶、そして街が失われたことを震災の教訓として残すため、震災前の街の骨格的な街路を公園の幹線園路として残します。



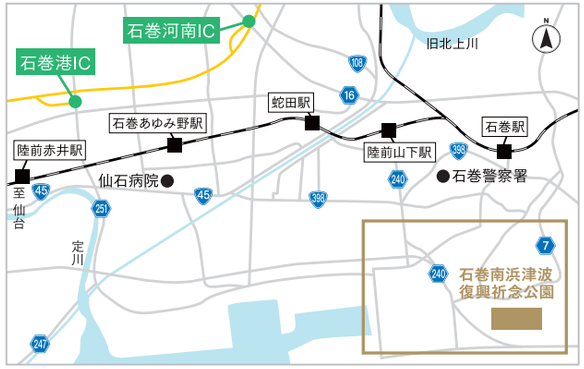
祈念公園が意味するもの

東日本大震災の犠牲者への追悼の場、教訓の伝承の場、復興への強い意志を発信する場としての祈念公園を整備します。

利用案内

所在地

〒986-0835 宮城県石巻市南浜町2丁目1-56



- 自動車をご利用の場合
  三陸沿岸道路(E45)「石巻港IC」より約15分、
  「石巻河南IC」より約15分
- バスをご利用の場合
  「石巻駅前バス乗り場<1番>」より
  ミヤコ―バス「山下門脇線」乗車、
  「門脇四丁目バス停」下車約12分
- タクシーをご利用の場合
  JR石巻駅前より「門脇口」まで約10分
- 自転車(レンタサイクル)をご利用の場合
  JR石巻駅前より「門脇口」まで約15分

開園時間

石巻南浜津波復興祈念公園
9:00～18:00(4月～9月)／9:00～17:00(10月～3月)

みやぎ東日本大震災津波伝承館
9:00～17:00 ※入館最終時間16:30

休園日

年中無休
※みやぎ東日本大震災津波伝承館は月曜日(祝日の場合は翌日)、
年末年始(12/29~1/4)
毎月11日は曜日・祝日限らず開館

園内利用の注意点

公園を安全に利用するために以下をお守りください
- 園内での火気利用は出来ません
  (喫煙は「門脇駐車場の喫煙所」でのみお願いします)
- 園内での一般車両・バイク・自転車等利用はご遠慮ください
- 公園内での植物や昆虫の採取・釣りはご遠慮ください
- ゴミは持ち帰りをお願いします
- 緊急時には公園スタッフの指示により行動してください

お問い合わせ先

石巻南浜津波復興祈念公園　公園窓口
TEL:0225-98-7401　FAX:0225-98-7485

みやぎ東日本大震災津波伝承館　展示窓口
TEL:0225-98-8081　FAX:0225-98-8082

https://www.ishinomakiminamihama-park.jp

R7.3作成

石巻南浜津波復興祈念公園 案内図

公園施設案内

❻石巻市慰霊碑

石巻市内でお亡くなりになられた方々を追悼するために建立された慰霊碑で、お亡くなりになられた方々の御芳名が記されています。

❼市民活動拠点

「がんばろう！石巻」看板や「南浜つなぐ館」等における追悼・伝承活動や杜づくり活動が行われています。多様な主体が活動する際の拠点となっています。

❽多目的広場

広大な芝生広場、クレイ広場、遊具広場、アスファルトで舗装された広場など、目的に応じて使い分けできる活動空間です。

❾雲雀野松原（ひばりのまつばら）

市街化前には海岸線にそって松林が形成されていました。その後、松林は市街化により住宅となりました。かつての松原を市民参加による植樹等により復元しています。

❶追悼の広場

多くの方々がつどい、震災によりお亡くなりになられた方を追悼する場で、全方位に祈ることができるよう円形の広場となっています。

❷祈りの場

土地の履歴を象徴する「善海田池」、「中町通」をはじめとする街の記憶、追悼と伝承の場としての「祈念公園」が重なる場です。

西から東にかけた半円の献花台があり、将来雲雀野松原の樹木が成長すると、縁に囲まれた善海田池を背景とした空間となります。

❸みやぎ東日本大震災 津波伝承館

東日本大震災による津波被害を後世に伝えるとともに、津波被害の軽減を図ることをテーマに、展示物・映像により非常時に備える行動を学べます。

❹一丁目の丘

公園全体や海・川を望める場（築山 標高10m）です。

❺善海田池（ぜんかいだいけ）

市街化が進行するまでは、この地に湿地が広がっていました。高度経済成長期に市街化が進みましたが、震災による地盤沈下で市街化以前の湿地を表出しました。

江戸時代まで、聖人堀より海側は潟と砂浜が広がる地でした。のちに開墾されると桑畑・果樹園・水田となり、さらに住宅地への転換が始まりました。
写真出典：国土地理院ウェブサイト

高度経済成長期、石巻市南浜町は住宅地として開発が進展、1977年には区画整理事業が完了し、住宅街が形成されました。
写真出典：国土地理院ウェブサイト

震災翌日の3月12日に撮影。南浜地区は、津波の襲来と火災の延焼により、石巻市の中でも特に被災が大きい地区でした。
写真出典：国土地理院ウェブサイト